

紙芝居で 伝える 子どもの時代

日本特有の文化として1930年頃に生まれた紙芝居。
その歴史には戦争が大きく影響し、第二次世界大戦の時期には紙芝居が戦争の宣伝の道具として使われました。
終戦から80年の節目の年に、静岡福祉大学附属図書館が所蔵する昭和の紙芝居で歴史をたどりながら、日本の子どもたちの歩みを振り返ります。



令和 1/23 木 ~ 3/9 日
7年

午前9時30分~午後7時(土日祝は午後5時まで)

※図書館休館日(2/10、12、24、26)を除く

静岡市立中央図書館 1階玄関ホール

1/23(木)・2/1(土) 午後1時~4時 企画担当 進藤令子氏 来館
(静岡福祉大学附属図書館図書課長)

展示協力

高橋洋子氏(高橋五山親族・法政大学国際日本学研究所客員学術研究員)
静岡民放クラブ

主催・問合せ

静岡市立中央図書館(静岡市葵区大岩本町29-1) TEL 054-247-6711
静岡福祉大学附属図書館(焼津市本中根549-1) TEL 054-623-7452

ココに注目①

紙芝居のあゆみ ー昭和の静岡ー

戦前の紙芝居『サルトカニ』『マサヲサンノユメ』と、当時の世相を描いた『朝』などの作品を展示します。



ココに注目②

戦前の紙芝居 音声版を公開

県内民間放送局の元アナウンサー等で作る「静岡民放クラブ」朗読グループの協力により作成した、DAISY(音訳)紙芝居を公開します。



ココに注目③

印刷紙芝居『きいろいはた』 原版を初公開！

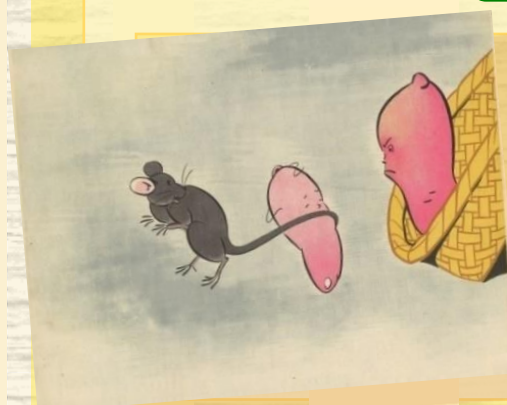
1973年に出版された交通安全紙芝居『きいろいはた』(福島のリ子／作 小谷野半二／画 教育画劇)の印刷原版(静岡福祉大学所蔵)を初公開します。



ココに注目④

印刷紙芝居の創始者のひとり・高橋五山／作 GHQの検閲を受けた紙芝居を初公開！

1950年の戦後の混乱期に制作され、GHQ検閲用に英文が併記された紙芝居『おいものきょうだい』(高橋五山／作 日本教育画劇社)を初公開します。



企画担当 進藤令子氏 来館！

1／23(木)・2／1(土) 午後1時～4時

企画を担当した静岡福祉大学附属図書館課長・進藤令子氏が常駐します。進藤氏は静岡発の児童絵本・雑誌の研究者として資料の収集・分析を行うとともに、県内全域で広く展示を企画・実施しています。